

ほのぼの

182 携帯電話



街を彩る七夕飾り

今月の表紙

旧暦の七夕の日にあわせ、三文字商店街を中心に七夕飾りが設置されました。七夕飾りは、幼稚園や小学校など町内 23 団体が製作したもので、色鮮やかに街を彩りました。短冊には平和や健康、震災復興などの願い事が多く見られました。

薩摩郷句

兼題「根性」(こんじょう)

世界中が五輪の金ぬ根性で競つ
(唱) 大概な根性じや 金な適わじ

植村昭子

根性強え奴十七年間も逃亡つ

北村虎王

(唱) 逮捕つ半分 ホツとしたかも

逮捕えつ口つば割らすち凄ぜ根性

(唱) 褒めつ脅せつ やつと吐かせつ

馬鹿けされつ負けがないかち根性を出せつ

(唱) 怒けつつかいが 本当の根性

女手の根性で育えた十人の子

(唱) 今じゃ幸福 賑げ老後

諸木小春

大崎短歌会

兼題「雨」

雨の中野百合の咲けりまされなき原種の朱
色保ちながらに

内田ちどり

降り続く雨に菜園の水引かずいんげん人參
根腐れ病に

穂園芳江

信濃路の小布施の里の梅雨しぐれ画狂老人
北齋を偲ぶ

溝口稔

しどと降る雨は切なやその昔相合傘の柄を
持ちし人

宮原のり

ほととぎすどこまで行くや啼き声は雨にど
んより一羽旅する

児玉チツ

大崎俳句会

曝書して母への手紙見つけ出す
内村美恵子

志布志湾汐風涼しフェリー行く
折田スズ

高値つく牛の貫禄風薫る
宮下のし

わが母のわれを呼ぶ声梅雨の月
益倉睦美

七夕や線香燃ゆる地藏尊
坂元つる子

手のひらに紫蘇の移り香土用干し
宮脇洋子

黒雲の来て涼しさの俄なり
町田ヤス子

人権啓発シリーズ 24-5

○同和問題 (大崎町人権教育・啓発基本計画より)

施策の方向性

- ①同和問題に係る人権問題の解決のために、人権擁護委員による人権相談所の相談体制の充実及び法務局(鹿屋支所)との連携に努め、相談者に対する助言や情報提供等を行います。
- ②住民への教育・啓発活動として、町広報誌への掲載や啓発チラシの配布などとともに、さまざまな場を活用し、研修や学習会・講演会などを積極的に行います。
- ③行政職員をはじめとする特定職業従事者の資質の向上を図るために、職員研修の充実、指導者養成に努めます。
- ④えせ同和行為は、同和問題に誤った認識を植えつけるなど、同和問題の解決にとって大きな障害要因となっているため、法務局等の関係機関と連携し、排除に向け啓発に努めます。

8月は『人権同和問題啓発強調月間』です。